

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会
2022年度 第4回定例理事会議事録要旨

日 時：2022年10月17日（月）16：00～18：35

場 所：AP 日本橋 A+B ルーム／オンライン「ZOOM」使用

出席者：理事長：比企直樹

副理事長：福島亮治

特任顧問：平井敏弘、平田公一

理 事：飯島正平、石井良昌、犬飼道雄、遠藤陽子、大石英人、尾花和子
小谷穰治、斎藤恵子、佐々木雅也、清水孝宏、鈴木 裕、高増哲也
千葉正博、中瀬 一、鍋谷圭宏、三原千恵、名徳倫明、室井延之
森みさ子、山中英治、鷲澤尚宏

監 事：倉田なおみ、田妻 進、土岐祐一郎、花崎和弘

事務局幹事：櫻谷美貴子、新原正大

記 録：事務局：瀧田実隆

欠 席 者：理 事：小山 諭

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 理事長挨拶

今回理事長が急用で参加が遅れるため、定款第14条を適用し、福島副理事長より2022年度第4回定例理事会の開催が宣言された。比企理事長が定刻より遅れて参加され、議事録署名は定款第33条に則り、理事長と出席した福島亮治 副理事長、倉田なおみ、土岐祐一郎 各監事となることが確認された。

II. 会員動向について

櫻谷事務局幹事のより2022年9月30日時点の会員動向が報告された。

■2022年9月30日現在 ※宛先不明16名含む

会員種別	2022年6月30日	2022年9月30日	増減
名誉会長	2名	2名	±0名
名誉会員	45名	45名	±0名
特別会員	70名	70名	±0名
代議員	252名	252名	±0名
学術評議員（代議員は除	513名	512名	-1名
正会員	22,290名	22,823名	+533名
寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	23,180名	23,712名	+532名

■職種別

医師	4,828名	管理栄養士	6,788名	言語聴覚士	643名
歯科医師	466名	栄養士	41名	歯科衛生士	123名
看護師	4,293名	臨床検査技師	654名	診療放射線技	4名
准看護師	2名	理学療法士	499名	節の他*	607名

薬剤師	4,631名	作業療法士	142名	合計	23,712名
-----	--------	-------	------	----	---------

■2022年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率
代議員	247名	5名	98.02%
学術評議員	487名	25名	95.12%
正会員	20,541名	3,171名	86.63%
総数	21,275名	3,201名	89.72%

III. 会計中間レビューの報告

尾花財務委員長より2021年12月1日から2022年5月31日の学会事業の収支状況の説明がされた。

IV. 第37回(2022年)学術集会会計収支報告について

第37回学術集会 飯島会長より理事会に対して謝辞が述べられた。収支説明がされ、バックアップシステムの故障での音響不具合の件もあり、現在、公認会計士の監査中であることが報告された。

V. 理事選挙の公告について

選挙管理委員長に選任された千葉理事より2023年に実施する理事・監事の半数改選の公示および手続きについて説明がなされ、承認された。COVID-19の影響により、本年も昨年に引き続き単独での社員総会となることから、今回の理事選挙も前回同様、代議員の選挙権の担保を目的として、郵送による事前投票にて準備を進めていることを説明された。

立候補申請期間：2022年11月16日(水)～12月15日(木) (消印有効)

VI. 第41回(2026年)以降の学術集会開催候補地について

鍋谷将来構想委員長より、COVID-19が流行して以降、学術集会開催方法はハイブリット型が主となっていることから、5,000名規模の会場での対応が可能なが説明された。それに伴い2026年以降の学術集会は、大会長の意向を組む形での会場の確保・調整を進められるよう将来構想委員会で改めて検討したい旨を報告された。

VII. 第41回(2026年)学術集会会長選挙について

定款第37条に基づき、2023年2月12日開催の第10回定時社員総会において、第41回(2026年)学術集会会長選挙を行う公告が示され、2022年12月1日(木)～27日(火) (消印有効)の期間で手続きを行うことが承認された。

VIII. 2023年度 第10回定時社員総会の招集について

第10回定時社員総会の招集について予定議案も含め提出され、以下のとおり決議された。また、前回同様にオンライン視聴を伴う単独開催とすることが確認された。

日 時：2023年2月12日(日) 13:00～16:00(予定) (名誉会員・特別会員推戴式も予定)

場 所：AP日本橋 6階 F+Gルーム

IX. 治療食見直しに関する3学会合同委員会のメンバーについて

日本臨床栄養代謝学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会の3学会で治療食に関する新規申請および解釈を検討していく、治療食見直しに関する3学会合同委員会のメンバーが以下の通り承認された。

斎藤恵子（管理栄養士）、佐々木雅也（医師）、鷺澤尚宏（医師）

（敬称略・五十音順）

X. ジェフ社からの商標権買取の方針を取りやめることについて

顧問弁護士を通し、株式会社ジェフコーポレーション（以下ジェフ社）と商標権「静脈経腸栄養」「日本静脈経腸栄養学会雑誌」の買取交渉を進めていたが、これまでの話し合いの経緯全体を踏まえ、商標権買取の方針を取りやめることが承認された。なおジェフ社とは、あくまで取引業者のうちの1社として、透明性をもって他の業者と平等かつ公平に扱う関係とすることが確認された。

XI. 理事長の任期延長について

石井規約委員長より、JSPENをより安定した状態で長期的な視点でじっくり腰を据えて運営するためには、任期の上限が4年では短いため、任期6年まで（最後の2年は理事会審議にて決定）にする提案がなされた。しかし一般社団法人格を取得した際、任期については十分に議論を重ねた経緯があること、理事長の在職中に任期を延長することの弊害など、多々検討する必要があることから、将来構想委員会で再考し、必要に応じて、改めて理事会に議案を提出することが確認された。

XII. 各種委員会・部会・WG・PT 審議事項

【総務統括部門】

総務委員会（飯島理事）

・名誉会員・特別会員推戴について

2023年3月31日までに満66歳になられる会員の推戴候補者の提案がなされ、次の通り推戴することが承認された。なお、来年以降の本手続きについては、年齢条項により推戴調査対象者が増えることが想定されるため、名誉会長・名誉会員・特別会員推戴内規を制定し、候補者審議を行うことになった。

【名誉会員】葛谷雅文、田中芳明、西口幸雄、花崎和弘

【特別会員】磯崎泰介、萩野 晃、坂元隆一、櫻井洋一、松原 肇、三木誓雄、水野文夫
山口 恵、山下芳典

（敬称略・五十音順）

財務委員会・規約委員会 合同（尾花理事・石井理事）

・旅費・謝金支給規程および運用規程の改訂について

COVID-19禍において感染リスク回避の観点から、現在の規程では運用できない自家用車、宿泊費の点を反映した旅費・謝金支給規程および運用規程の改訂案が提出され承認された。また、また非会員を対象にした講演料等については、各規程との整合を確認し次回理事会に改定案を提出することになった。

将来構想委員会 JSPEN-U45（鍋谷理事）

- ・ JSPEN-U45 クラブの設立について

JSPEN のさらなる発展のため、将来構想に関わる意思がある若手会員を把握して交流を開始することを目的に JSPEN-U45 クラブ（原則 45 歳以下の会員）の設立が承認された。

将来構想委員会 未来研究プロジェクト（鍋谷理事）

- ・ 未来研究プロジェクトの応募要項（資格）と申請期間について

応募要項案と申請書案の説明がなされ、「未来研究プロジェクトアワード presented by Otsuka Pharmaceutical Factory」の名称案で研究の選定・サポートの運用を行うことが承認された。

【渉外部門】

国際委員会（福島副理事長）

- ・ 一部の主要コンテンツの英語版 JSPEN ウェブサイト作成について

翻訳するコンテンツ、3 社相見積もりの概要が提示され、海外に向けた JSPEN の情報発信や PR 活動を目的に、英語版 JSPEN ウェブサイトを作成することが承認された。

【認定・資格検討部門】

認定・資格制度委員会、臨床栄養代謝専門療法士資格、栄養士・管理栄養士部会 合同（福島副理事長、佐々木理事、斎藤理事）

- ・ 3 階建て認定資格制度制定に伴う運用について

各認定資格の「取得までの年数」、「認定期間」について、以下改定案が提出され承認された。次回理事会にて詳細な規程案を提出予定である。

■NST 専門療法士

項目	現在	改定案
取得までの年数	実務経験 5 年以上	実務経験 3 年以上
認定期間	5 年	5 年
更新期間	5 年	取得後 3～5 年以内
上部資格の申請資格	取得後、5 年以上経過しており、1 回以上の資格更新認定がされていること	更新手続き期間までに「更新要件」を満たす（見込み）場合は、一段階上部資格の同時認定申請が可能

■臨床栄養代謝専門療法士

項目	現在	改定案
認定期間	5 年	5 年
資格間の連結	「NST 専門療法士」、「臨床栄養代謝専門療法士」それぞれの更新が必要	「NST 専門療法士」と同時更新となり、認定期間が臨床栄養代謝専門療法士と統一
更新期間	5 年	取得後 3～5 年以内
上部資格の申請資格	取得後、5 年以上経過しており、1 回以上の資格更新認定がされていること	更新手続き期間までに「更新要件」を満たす（見込み）場合は、一段階

	ること	上部資格の同時認定申請が可能
--	-----	----------------

■周術期、救急・集中治療専門管理栄養士

項目	現在	改定案
認定期間	5年	5年
資格間の連結	「臨床栄養代謝専門療法士」、「周術期、集中治療専門管理栄養士」それぞれの更新が必要	「臨床栄養代謝専門療法士」と同時更新となり、認定期間が周術期、集中治療専門管理栄養士と統一
更新期間	5年	5年

XIII. 持ち回り理事会 審議事項の結果報告

総務委員会（飯島理事）

- ・定款施行細則以外の休会申請について
2022年4月1日から2022年8月31日の期間での、定款施行細則以外の休会申請7件について、全会一致で承認された。

倫理・利益相反委員会（鷺澤理事）

- ・倫理的配慮啓発まんがの著作権について
掲載するまんがの知的財産権は考案した本人の同意の元、JSPENに委ねることで承認された。
- ・倫理審査委員会の実務について
来年度の年間予定は事業計画策定時に立案すること、倫理審査の依頼数を絞るための文言について、全会一致で承認された。
- ・会員からの問い合わせ窓口のサイトについて
会員からの倫理的配慮に関する問い合わせについて、相談内容のまとめやFAQの作成など事務局での対応は煩雑になるため、鷺澤委員長が個人で対応する提案がなされたが、委員長交代時など、長期での運用方法が確立していないことから、改めて委員会にて審議し、次回理事会に提出することが確認された。

保険委員会（鈴木理事）

- ・ラコールNF配合経腸用液 不採算品再算定に関する学会要望書について
経腸栄養剤ラコールNF配合経腸用液が今般の原材料高騰に伴い不採算の状態になっているため、厚生労働省に対して薬価を上げていただけるよう不採算品再算定の要望をJSPENより提出することが、全会一致で承認された。

教育委員会 看護師部会（清水理事）

- ・看護師会員に向けたアンケート調査の実施について
看護師が臨床（現場）で実践している栄養についての課題や問題を明らかにするため、看護師会員に向けたアンケート調査の実施について、全会一致で承認された。

栄養士・管理栄養士部会、臨床栄養代謝専門療法士認定資格（斎藤理事・佐々木理事）

・周術期、集中治療専門管理栄養士取得条件拡大について

周術期、集中治療専門管理栄養士を申請できる臨床栄養代謝専門療法士の分野について、「がん」「周術期・救急集中治療」領域以外の資格を保持している会員の平等性と 9 領域全ての分野に関わりが深いことから、9 領域全ての分野から申請できるよう改定することが承認された。

XIV. その他

日本口腔ケア学会からのアンケートについて（石井理事）

・日本口腔ケア学会から、口腔から栄養療法を支え効率的な連携や深い相互理解を得るためのコンセンサスをまとめる目的で、JSPEN 代議員を対象にアンケートを実施したいと申し入れがあり、承認された。

■2023 年度第 1 回定例理事会の開催予定について

日 時：2023 年 1 月 22 日（日）13 時～15 時

場 所：ステーションコンファレンス東京 605 A+B+C ルーム

以上

2022 年 10 月 17 日（月）